

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年1月31日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	東郷町役場	代表者名	加藤 久登
担当者部署	未来プロジェクト課	連絡先電話番号	0561-56-0763
担当者役職	担当者氏名	連絡先E-mail	
住所	470-0198 愛知県東郷町大字春木字羽根穴1番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村上 文洋
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	若手プロジェクトチームが企画検討している新しいテクノロジーを活用する事業へのアドバイスをいただくとともに、現場の事務担当職員の知識レベルを向上することができ、来年度の事業化に向けてとても役に立った。 係長級職員を中心にオープンデータやデータ活用により、行政(地域)課題を明確にすることの大切さを理解することができた。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年12月16日	12時00分	17時15分		315
3-2. 派遣場所	会場名	東郷町役場		最寄駅	赤池駅
	所在地	愛知県愛知郡東郷町大字春木字羽根穴1番地			
	最寄駅からの交通手段	名鉄バス 豊田市駅行きに乗車。「和合」バス停にて下車。徒歩1分			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	全職員、係長級職員	56人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	① 先進的技術を行政運営に反映させるため、若手プロジェクトチーム(以下、PTと表示)を主導に企画提案へ取り組んでいるが、知見が不足している。 ② ①の企画提案を現場で実施することとなる原課職員の知見も不足しており、企画が進んだ場合、現場への落とし込みが困難になると想定される。 ③ 効果的な事業展開を行うために、今後の行政(地域)課題をより明確に理解する必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	① PTメンバーが先進的技術の活用を考えられる知識を身につけ、先進的技術を活用した企画を提案できるようにすること。 ② 原課職員が先進的技術がどのようなものか理解できるよう知識を身につける。 ③ PTメンバーや原課職員を中心に今後の行政(地域)課題を理解する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	① PTメンバーが検討しているチャットボットやLINEの活用へのアドバイス。 ② PTメンバーを中心に全職員を対象とした、先進的技術の知識取得を目的とした講義。 ③ 係長級職員を対象とした、オープンデータやデータ活用による行政(地域)課題に関する講義。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	① PTメンバーが検討しているチャットボットやLINEの活用の事業に係る計画の策定。 ② PTメンバーを中心とした一般職員の今後の行政サービスに関わる新しいテクノロジーや民間サービス等についての知識取得。 ③ 係長級職員のオープンデータやデータ活用の知識取得。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越した内容(具体的にご記入ください)	【持ち越しとなった内容】 ③ 近隣市を含む一般職員のオープンデータやデータ活用による地域特性を踏まえた行政(地域)課題の理解。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 特になし。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	支援終了後も自主的に先進的技術の活用について企画ができるようになる。また、必要な技術については事業化を行えるようになる。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

